

「第5回北海道高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議」 次第

〔 令和4年11月10日（木）14:00～
テレビ会議室 〕

1 開 会

2 協議事項

（1）防疫措置の実施状況及び今後の対応について

（2）その他

3 本部長からの指示事項

4 閉 会

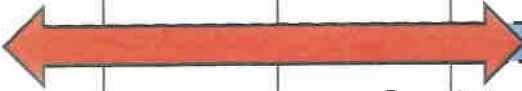
伊達市の肉用鶏飼養農場 防疫作業の進捗状況

■ 作業シフト・動員計画

- 8時間の3交代制シフト
- 1シフト当たり約90人体制
- ・ 発生農場の防疫作業は、1日計約270人体制

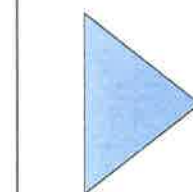
■ 防疫措置期間

- ① 殺処分作業 5日→4日 (終了)
- ② 埋却作業 8日
- ③ 清掃・消毒作業 8日

作業日	1日目 (11/7)	2日目 (11/8)	3日目 (11/9)	4日目 (11/10)	5日目 (11/11)	6日目 (11/12)	7日目 (11/13)	8日目 (11/14)
作業内容	 							
			① 殺処分作業 (終了・資料2)					
				② 埋却作業 (実施中・資料2)				
				③ 清掃・消毒作業 (実施中・資料2)				

発生農場の防疫措置完了

21日間

1週間ごとに
2回の
消毒作業

制限区域を含めた防疫措置終了

高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について

資料 2

発生農場の防疫

通行制限

○ 発生場所のバイオセキュリティの確保

家きんの殺処分

○ 炭酸ガスを使用

汚染物品処理

埋却

○ 埋却、堆肥化、一定期間封じ込め等

消毒(1回目)

○ 消毒薬噴霧、消石灰散布

農場防疫措置完了

○ 約1週間ごとに2回消毒実施

制限区域を含めた防疫措置の終了



厚真農場

肉用鶏
約17万羽飼養
(国内2例目)
(道内1例目)

10月28日
殺処分開始
〔 10月31日完了 〕

10月28日
埋却開始

11月3日
農場防疫措置完了

11月11日(消毒2回目)(予定)
11月19日(消毒3回目)(予定)

11月25日
防疫措置
終了予定

伊達農場

肉用鶏
約15万羽飼養
(国内6例目)
(道内2例目)

11月7日
殺処分開始
〔 11月10日完了 〕

11月8日
埋却開始
〔 11月14日完了予定 〕

11月14日(計画)
農場防疫措置完了(予定)

消毒2回

農場防疫措置完了の
21日後

発生農場等への支援対策について

資料 3

〔令和 4 年 11 月 10 日〕
農政部生産振興局畜産振興課

1 家畜伝染病予防法による手当金・交付金（農政部）

○殺処分家きんに対する手当金及び特別手当金

【手当金】

- ・患畜（検査した鶏） 評価額の 1 / 3
- ・疑似患畜（殺処分した鶏） 評価額の 4 / 5

【特別手当金】

- ・患畜（検査した鶏） 評価額の 2 / 3
- ・疑似患畜（殺処分した鶏） 評価額の 1 / 5

※手当金と特別手当金により評価額の 10 / 10 を補償

○農家への支援措置

- ・移動及び搬出制限農家を対象に売上減少額又は飼料費・保管費・輸送費等の増加額を国(1/2)と道(1/2)で全額交付

※交付金及び農家への支援措置に道が負担した場合、その経費の 4 / 5 を特別交付税措置

2 家畜防疫互助事業の窓口（農政部）

○経営支援互助金

- ・発生農家が新たに鶏を導入し、経営を再建する場合、経営支援互助金を交付

【企業型】

肉用鶏 35円／羽

※生産者積立金に対し国が支援

3 金融相談窓口の設置（農政部）

- 日本政策金融公庫が「高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の発生に関する相談窓口」を設置

高病原性鳥インフルエンザ防疫作業員に係る健康管理【伊達】 資料 4

(11月10日12時現在)
胆振総合振興局
保健福祉部

● 職種別従業者数

	11月7日(月)	11月8日(火)	11月9日(水)	11月10日(木)	計
医師(道)	2名	3名	2名	2名	9名
保健師	2名	6名	6名	3名	17名
道	2名	5名	5名	3名	15名
伊達市		1名	1名		2名
薬剤師(道)	1名	3名	2名	2名	8名
事務職員(道)	3名	3名	2名	2名	10名
計	8名	15名	12名	9名	44名

● 診察、タミフル処方人数

	11月7日(月)	11月8日(火)	11月9日(水)	11月10日(木)	計
診察	3名	3名	4名	0名	10名
うちタミフル処方人数	1名	1名	1名	0名	3名